

今、蘇る！！

真空凍結乾燥粉末

キダチアロエエキス

ユリカ株式会社

【真空凍結乾燥と温風乾燥による違い(1)】

製法による比較	ユリカロン (真空凍結乾燥)	温風乾燥による商品
前 処 理	高速ミキサーによる丸ごとジュース化	カッターによるスライス
乾 燥 法	真空凍結乾燥法 (-45°C)	天日、温風乾燥 ($+60\sim 80^{\circ}\text{C}$)
添 加 物	無添加による錠剤化 (製法特許公開中)	粉末または添加物を入れて錠剤化

【真空凍結乾燥と温風乾燥による違い(2)】

2

試 験 項 目	ユリカロン (真空凍結乾燥)	温風乾燥による商品
色	薄緑色	黄色を帯びた緑色
臭い	強い青臭さ有り	青臭さ有り
味覚	生葉に近い苦味	苦味有り
溶解性	水に可溶 有機溶媒に一部不溶	水に可溶 有機溶媒に一部不溶
タンパク(2法)	15.7mg/mL ↔ 4.1mg/mL 48.0mg/mL ↔ 6.5mg/mL	
糖(2法)	13.6mg/mL ↔ 8.0mg/mL 48.0mg/mL ↔ 30.5mg/mL	
・カルボキシペプチダーゼ ・プロテアーゼ・インヒター	5.4U/mL ↔ 0.69U/mL 42% ↔ 5%	

※錠剤を粉にして粉末1gを10mLの蒸留水によく混ぜて溶かした後、4℃に保ちながら1分間に12,000回転する遠心分離にかけその上澄みを試料に分析を行なった。

【キダチアロエの有効成分】

1) ペプチダーゼ、プロテアーゼ類

- a. アロエ・カルボキシペプチダーゼ
- b. トリプシン様酵素
- c. プロテアーゼ阻害酵素

2) 生物活性成分

- a. 赤血球凝集物質
- b. 細胞凝集物質
- c. リンパ球幼若化物質
- d. マクロファージ活性物質
- e. α_2 -マクログロブリン結合物質
- f. TNF様物質
- g. 抗菌物質
- h. 抗酸化物質

3) 生理活性作用

- a. 高血糖降下作用
- b. アセトアルデヒド生成抑制作用
- c. 実験的コレステロール胆石生成抑制作用
- d. 胃潰瘍抑制作用
- f. 十二指腸癌形成抑制作用
- g. 皮膚癌発生抑制作用（発癌二段階実験による）

【主な抗酸化作用物質の濃度】

・ 総カロチン	6.7~12	mg
・ ビタミンA効力	3,710~6700	IU
・ 総ビタミンC	352	mg
・ 総トコフェロール	79.4	mg
・ α トコフェロール	68.1	mg
・ β トコフェロール	10.6	mg
・ 葉酸	86	μ g
・ ビタミンB ₁	190	μ g
・ ビタミンB ₂	630	μ g
・ アロエニン	1400	mg
・ バルバロイン	740	mg
・ イソバルバロイン	480	mg
・ SOD活性 (スーパーオキシド消去活性,電子スピン共鳴法)	1.6×10^5	IU

(ユリカロン100g中)

【キダチアロエの肌に対する効用】

1.鎮痛作用

アロエカルボキシペプチダーゼ

2.ラジカル消去作用

クマロイルアロエシン、フェルロイルアロエシン

3.抗炎症作用

アロエニン、バルバロイン、イソバルバロイン

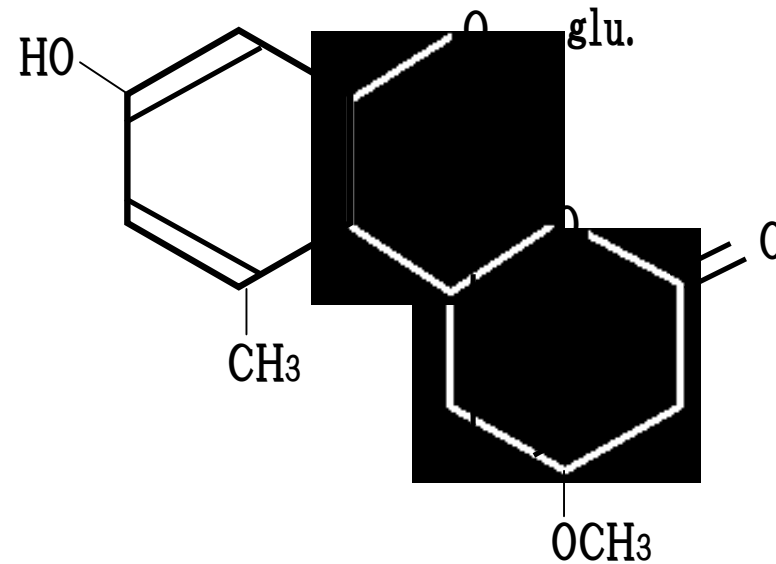
4.抗真菌作用

バルバロイン、アロエカルボキシペプチダーゼ
キダチアロエ全葉粉末、キダチアロエ高分子成分粉末



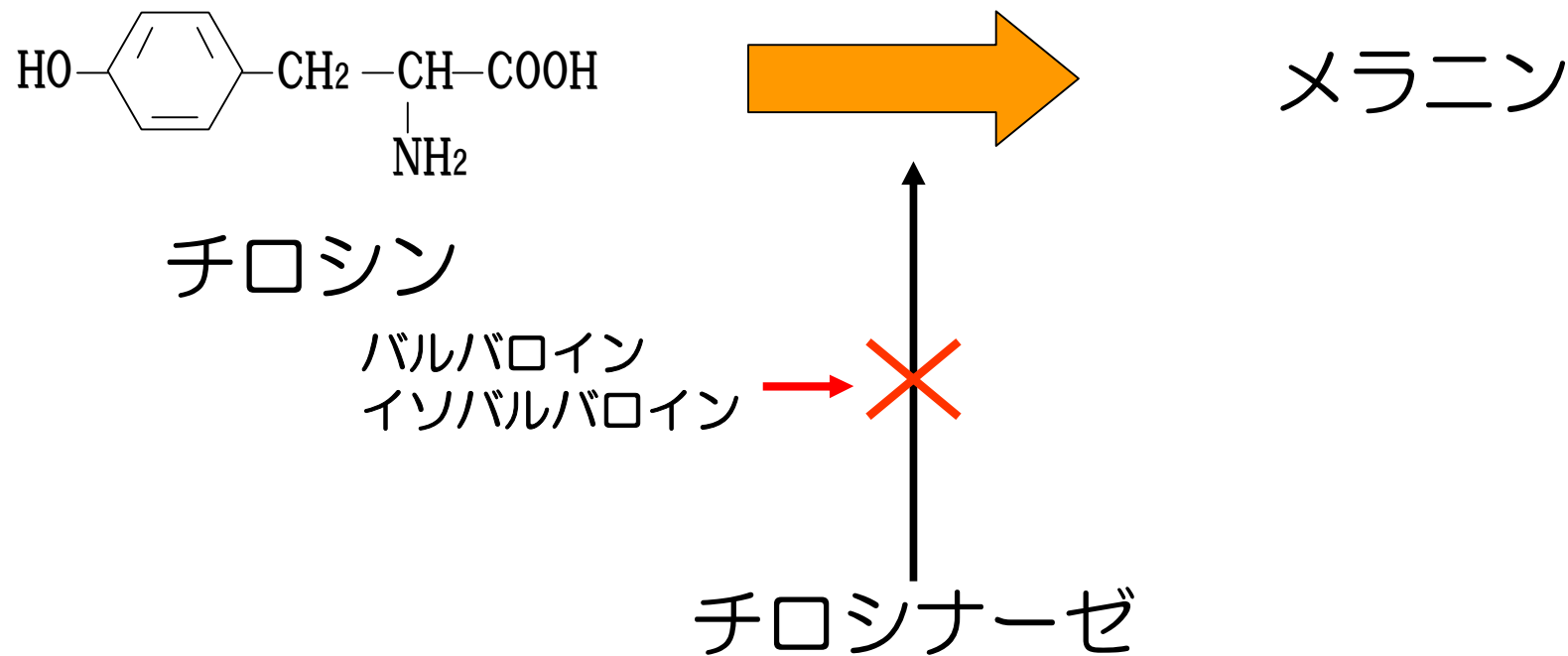
【アロエニンの効果】

- 1.発毛・育毛促進
- 2.美肌・整肌作用
- 3.耳浮腫抑制



アロエニン

バルバロイン、イソバルバロインの チロシナーゼ抑制効果



キダチアロエ成分中のバルバロイン、イソバルバロインは
チロシナーゼ抑制作用を有する。

メラニンの沈着はシミの原因となる！

【キダチアロエとアロエベラとの国内使用比較】⁸

	キダチアロエ	アロエ・ベラ
学名	<i>Aloe arborescens</i> Miller <i>var.natalensis</i> Berger	<i>Aloe barbadensis</i> Miller
主要生産国	日本（特産）	アメリカ
使用部位	全葉 全部丸ごと使用可	葉肉（ゼリー）部分
製品形態	粉末状・顆粒状・ 粒状・茶葉状・液状	ほとんど液状
対照物質	アロエニンを含む	1) β シトステロールの分 画成分SPG及びSGが 検出される 2) アロエニンを含まない
健康食品以外の用途	化粧品類一般・鑑賞用	化粧品類一般

薬事法におけるキダチアロエと アロエ・ベラの使用部位

- ・ キダチアロエ

日本の法律に触れる事なく有効成分（苦い成分）のある**葉皮**ごと使用できる。

- ・ アロエベラ

日本の法律で、葉皮は医薬品登録のため**葉肉**しか使うことができない。

キダチアロエとアロエベラの成分と働き

成分表	作用	キダチアロエ	アロエ・ベラ	アロエベラ 皮を除いた時
アロイン バルバロイン イソバルバロイン	・苦味健胃 ・緩下作用 ・瀉下作用 ・チロシナーゼ阻害作用	○	○	×
アロエエモジン	・緩下作用	○	○	×
アロエニン	・健胃作用	○	×	×
乳酸マグネシウム	・抗潰瘍作用	○	×	×
アロエムチン	・新陳代謝	○	×	×
ホモナタロイン	・苦味健胃 ・緩下作用 ・瀉下作用	○	○	×
アロエチン	・抗カビ作用 ・抗菌作用	○	×	×
アロミチン	・抗腫瘍作用	○	○	○
アロエボラン	・血糖値を下げる	○	○	○
アロエマンナン	・新陳代謝 ・抗腫瘍	○	○	○
アロエシン	・抗菌作用 ・チロシナーゼ阻害作用	○	○	○

【キダチアロエの部位による成分と効用の違い】

葉皮

- ・アロエチン（耳浮腫）
- ・バルバロイン（耳浮腫、大腸癌）
- ・イソバルバロイン（耳浮腫、大腸癌）
- ・アロエクチン（免疫機能亢進）
- ・フェルロアロエチン（肝機能亢進、糖尿病）
- ・クマロアロエチン（肝機能亢進、糖尿病）
- ・糖尿病
- ・抗炎症



葉肉

- ・血糖降下
- ・糖尿病
- ・抗炎症

葉皮に成分が集中していることが判る

【キダチアロエとアロエ・ベラに含まれている美容成分】

成分名	作用	キダチアロエ	アロエ・ベラ
アロエシン	<ul style="list-style-type: none"> ・抗菌作用 ・チロジナーゼ阻害作用 (美肌効果) 	○	○
アミノ酸類 有機酸類	<ul style="list-style-type: none"> ・メラニン形成阻害作用 (美肌効果) 	○	○
アロエカルボキシ ペプチダーゼ	<ul style="list-style-type: none"> ・抗炎症作用 	○	○
サポニン	<ul style="list-style-type: none"> ・抗菌作用 	—	○
ミネラル	<ul style="list-style-type: none"> ・メラニン形成阻害作用 (美肌効果) 	○	○

【アロエ製品の価格（経済性）比較】

キダチアロエ

アロエ・ベラ

当社（錠剤）
250錠
4,800円

A社（ジュース）
720mL
3,500~4,800円

B社（ジュース）
1,000mL
6,800円

10錠/日
25日分

50mL/日
14日分

100mL/日
10日分

1kg全葉
900mL

1kg全葉
900mL

3kg全葉
2,000mL

ろ過して煮沸殺菌
729mL

乾燥

36g
0.13gの錠剤にすると
276錠
19円/錠

10g
76錠
52円/錠

14g
107錠
63円/錠